

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 千葉県 】

1 実践テーマ	【 I II V 】
2 実施対象者	学校名 印西市立いには野小学校 対象学年 全校 人数 492人
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (体育 生活 学活) ② 行事名 () ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 (女子ソフトボール日本代表歓迎セレモニー) ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	スポーツに親しみ、楽しさや感動を分かち合う児童の育成をはかるとともに、ボランティアの精神とおもてなしの気持ちを育てる。
5 取組内容	<p>【順天堂大学スポーツ教室】</p> <p>オリンピックに3大会連続で出場した(400mハードル)、順天堂大学教授山崎一彦先生と8名の学生を招き、陸上教室を行った。</p> <p>1日目は、リオオリンピックに出場した北川選手や国内で活躍する順天堂大学学生の模範を見学した。スピードはもちろんのことフォームの美しさや歩幅の広さに児童は感動していた。ハードル走では、低学年の身長位ある高さをスムーズに走り超す姿に児童は驚いていた。</p> <p>2日目は、5・6年生に対しては、短距離走、ハードル走も直接実技指導をしていただいた。</p> <p>この2日間において、生涯にわたってスポーツに親しんでいる山崎先生の話は、児童の心に響く</p>



ものであった。

【女子ソフトボール日本代表歓迎セレモニー】

全日本女子ソフトボール女子TOP代表との交流を実施した。印西市で合宿中の選手達に、本校の児童が願いを込めて折った千羽鶴と激励の寄せ書きをしたボールを送った。世界一に輝いた選手たちと直接触れ合えたのは貴重な経験になった。



【花いっぱい活動】

1学期には、地域の方や保護者と一緒に環境美化活動を行った。児童だけで環境美化活動を行うより、大人と一緒に活動する方が児童の表情は生き生きとし、作業もはかどるものであった。



2学期には、一人一鉢運動として卒業式や入学式に向けて、1・2年児童がパンジーを植えた。草花を育てること、式をよりよいものにしようとする思いを持たせ、おもてなしの気持ちの理解につなげたいと考えている。



6 主な成果	<p>オリンピック経験者と触れ合える機会をとおして、友達とこの感動を分かち合い、今後のスポーツに対する意欲向上につながった。</p> <p>地域や保護者とかわり、美化活動や花植え活動を実施したことで、ボランティア活動の意義やおもてなしのマナーやルールの理解につながった。</p>
7 実践において工夫した点(事業の特色)	<h3>【順天堂大学スポーツ教室】</h3> <ul style="list-style-type: none">・印西市教育委員会と連携を図り、順天堂大学との調整をスムーズに行った。・スポーツ教室については、下学年（1～3年）と上学年（4～5年）に分けて発達段階に合わせた内容を実施した。 <h3>【花いっぱい活動】</h3> <ul style="list-style-type: none">・地域ボランティア活動やPTA行事とタイアップし、地域全体にこの事業を広めた。
8 主な課題等	<ul style="list-style-type: none">・今年度は、予算を使っでの実践をいつから始めてよいか不透明な部分があったので、具体的に進めるのが2学期後半になってしまった。・次年度は、新学習指導要領実施移行期間であることも含め、授業時数の確保や職員の多忙化につながらないように計画する必要がある。
9 来年度以降の実施予定	<p>引き続き順天堂大学と連携し、本年度行った陸上教室を実施するとともにパラスポーツ体験とその競技者とのふれあいを実施していきたい。</p>

